

山下地区

山下地区別計画推進委員会

地域 西八朔町、北八朔町、小山町、青砥町

区の北側、恩田川と鶴見川にほぼ挟まれた形で東西に長く位置し、北西側は青葉区、北側は都筑区に隣接している。市街化調整区域が多い田園地帯で、丘陵地に市営住宅や戸建の住宅がならんでいる。山下地域交流センターやコミュニティハウスが整備され、活動の拠点となっている。

特別養護老人ホーム、介護老人保健施設などの福祉施設が多い。

<主な関連施設>

最寄駅：中山駅（JR横浜線・横浜市営地下鉄グリーンライン）、青葉台駅、藤が丘駅（東急田園都市線）

震災時避難場所（地域防災拠点）：山下小学校、山下みどり台小学校

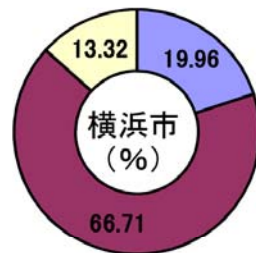
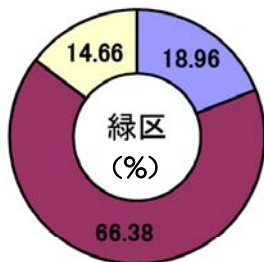
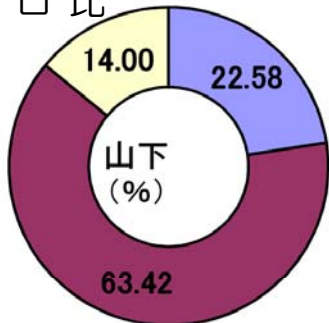
地域ケアプラザ等：横浜市中山地域ケアプラザ、ふじ寿か園地域包括支援センター

<年齢区分別人口>

平成23年(2011年)9月末

人口比

■高齢化率(65歳以上) ■生産年齢人口比率(15~64歳) □年少人口比率(0~14歳)

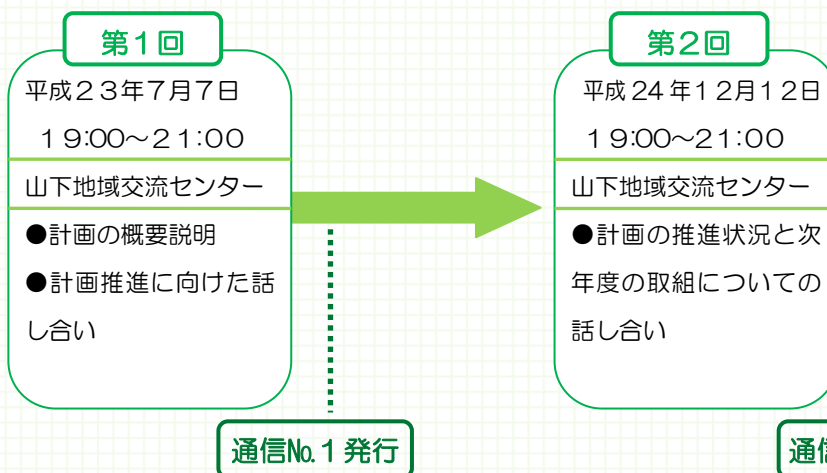


75歳~	1,750人
65~74歳	1,947人
15~64歳	10,383人
6~14歳	1,496人
0~5歳	797人
合計	16,373人

75歳~	14,370人
65~74歳	19,186人
15~64歳	117,467人
6~14歳	16,000人
0~5歳	9,942人
合計	176,965人

75歳~	336,653人
65~74歳	403,089人
15~64歳	2,472,006人
6~14歳	300,920人
0~5歳	192,789人
合計	3,705,457人

地区別計画推進委員会の開催状況



緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」平成23年度地区別計画推進状況



山下地区

**「つながり」を大切にする
もっともっと住みよい街を目指して！**

山下地区では、これまで、『つながりを大切にするまちづくり』を目標に取り組んでいます。

一つ目は、地域の団体のことを知ってもらう取り組みとして、自治会加入を呼びかける案内を作成し、未加入世帯にポスティングしたほか（青砥町）、行事のお知らせをチラシだけでなく、直接会って伝える努力をしています。

また、高齢者が気軽に集まり交流できる「友愛サロン」（みどり台）や「ふれあい昼食会」（北八朔上）を月1回開催しています。

二つ目は、地震などの災害時に備えた安全・安心の取組として、今いる家族が大丈夫な場合に、黄色いタオルを玄関や門柱な

どの目立つ場所に掲示する、災害時の安否確認訓練を11月に実施し、班長による状況確認を迅速に行うことができました（小山町）。

これらの取組を推進することにより、ひとり暮らし高齢者や子育て中の親等の孤立を防ぎ、また、地域の行事への参加者が増えることで、自治会や子ども会などの活動を活発にしていきたいと考えています。



（写真：小山町「黄色いタオルを使った災害時の安否確認」）

**「山下地区別計画推進委員会通信No.2」を地域の皆さんにお配りしています。
これまでの取り組みや次年度の抱負も掲載していますので、ぜひ、ご覧ください！**



山下地区別計画推進委員会



山下地区別計画推進委員会
平成23年8月発行

山下地区別計画推進委員会通信 No.1

平成23年7月7日（木）19時～21時
山下地域交流センターにおいて、
「第1回みどりのわ・ささえ愛プラン山下地区別計画推進委員会」を開催し、みどりのわ・ささえ愛プラン
山下地区別計画の推進に向け話し合いを行いました。
地域の皆さん、是非ご覧ください！



★山下地区別計画推進委員会とは…

山下地区の主な福祉保健団体などの代表14名がメンバーとなり、「みどりのわ・ささえ愛プラン 山下地区別計画」（平成23年度～平成27年度）の推進に向け、地域の取組状況の共有や、目標達成のための具体的取組の検討、進捗状況の把握、意見交換等を行う委員会です。

★みどりのわ・ささえ愛プラン山下地区別計画とは…

「みどりのわ・ささえ愛プラン」は、誰もが身近な地域で安心して暮らしていけるよう、福祉・保健に関する課題の解決に向け、区民の方々や団体、事業所、地域ケアプラザ、区社会福祉協議会、区役所等が協働で取り組む計画です。

その中でも「地区別計画」は、身近な地域の日々の暮らしの中で起きている課題の解決に向け、取り組むための計画です。山下地区においては、山下地区別計画策定委員会が中心となって話し合いを重ね、平成23年3月に「山下地区別計画」を策定しました。

山下地区別計画

1 地域での「つながり」を大切にすまちづくり

【具体的な取組】

- 回覧板はチャイムを押しての手渡し、行事のお知らせはチラシより直接会って伝える、スポーツ行事を通じた交流を広げるなど、あいさつで顔見知りになる機会を増やすこと。
- 「自治会の枠を超えたつながり」をつくるため、民生委員等の各種団体が接着剤の役割（地区情報の共有化）をしていくこと。自治会と各種団体はオリンピックの五輪の輪！

2 必要な「情報」が入手しやすいまちづくり

【具体的な取組】

- 緊急時医療情報キット配布等の訪問時には、併せて興味のある情報や他の団体が行う行事等の情報を伝えること。
- 連合自治会が中心となって、自治会や各種団体の活動をつなげる会議を開催し、地区の情報を共有化すること。また、ひとり暮らし高齢者等の情報を基に要援護者マップ等を作成し活用すること。

3 「防犯・防災」で安心・安全なまちづくり

【具体的な取組】

- 老人会の入会勧奨等の訪問時に、※防災ささえあいカードに記入してもらおう等、情報収集に努めるとともに、自治会や民生委員が中心となり、情報の更新を計画的に行うこと。
- 高齢者だけでなく、障がいのある人や認知症の人、子育て中の人等、支援が必要な人の情報も収集し、安心して住める地域づくりを進めること。

※「防災ささえあいカード」とは？

災害発生直後の、要援護者の安否確認・救出救護・避難誘導が、地域の助け合いのもとで円滑に行えるよう、あらかじめ災害要援護者の情報を把握するために記録するカードです。

第1回地区別計画推進委員会にて話し合われた内容をご紹介します。

山下地区では、今年度、「つながり」を大切にすまちづくりに取り組んでいきます！

1 自治会に入っていない世帯と「つながり」をつくっていききたい・・・

(山下地区 約7,200世帯中 自治会に入っている世帯が約4,600)

- 自治会ごとに、会費の負担が困難な人の会費を免除したり、防災ささえあいカードによる災害時支援のメリットを伝えるなど、自治会加入世帯を増やしていくために様々な工夫をしてはどうか。
- 自治会に入っていない世帯の子どもたちも、地域のイベントに参加できるよう配慮することで、親子がいっしょに参加でき、若い親に自治会に入る意義を感じてもらえるのではないかな。
- 民生委員による敬老の日の訪問や子どもを中心としたイベントなどにより、自治会に入っていない高齢者や親子の孤立化防止につなげていく。
- あいさつに始まる声かけで、地域の支え合いの輪を広げていきたい。

2 子育て中の親と子をしっかり支えていききたい・・・

- 子育て中の親と子に地域のイベント等の情報を提供することや参加の声かけを行うことで、子ども会や地域との「つながりが生まれる」のではないかな。

3 災害時などに備えて、隣近所のつきあいを大切にしたい・・・

- アパートなどは、世帯の表札が無い場合が多く、家族の状況が分かりにくい。災害時に備えて、隣近所のつきあいが大切なので、隣近所に頼れる関係づくりの手伝いができるようにしたい。

4 防災ささえあいカードを有効に活用していききたい・・・

- 防災ささえあいカードを使い勝手の良いものに変えていきたい。
- 防災ささえあいカードの更新をしたいが、金銭的・労力的な負担が大きい。敬老の日に記念品を渡す場を活用するなどしてカードを書いてもらうのも効果がある。
- 乳幼児とその親も防災ささえあいカードの対象とするべき。
- 自治会に入っていない世帯は、防災ささえあいカードの作成をしていないことが課題になっている。

今回は、12月頃に第2回地区別計画推進委員会を開催し、取り組んだ活動について振り返りを行う予定です。



【山下地区別計画推進委員】(アイウエオ順 敬称略)

浅見 静代	○荒谷 孝道	石井 薫	井上 和子	大槻 孝
小川 絵美	小熊 富美	小澤 秀夫	鈴木 陽子	高橋 弘行
成島 昭吾	兵頭 洵	宮田 文夫	本橋 吾朗	

(○印は委員長)



みんなの力で山下地区をもっともっと
素敵な街にしていましょー！！

<連絡先>

山下地区別計画推進委員会
事務局 TEL: 930-2282
(緑区 税務課担当課長 藤井)



山下地区別計画推進委員会
平成24年1月発行

山下地区別計画推進委員会通信 No.2

平成23年12月12日(月)19時～21時
山下地域交流センターにおいて、「第2回みどりのわ・ささえ愛プラン山下地区別計画推進委員会」を開催し、みどりのわ・ささえ愛プラン山下地区別計画の推進状況と次年度の取組について話し合いを行いました。
地域の皆さん、是非ご覧ください！



★山下地区別計画推進委員会とは…

山下地区の主な福祉保健団体などの代表14名がメンバーとなり、「みどりのわ・ささえ愛プラン山下地区別計画」(平成23年度～平成27年度)の推進に向け、地域の取組状況の共有や、目標達成のための具体的取組の検討、進捗状況の把握、意見交換等を行う委員会です。

★みどりのわ・ささえ愛プラン山下地区別計画とは…

身近な地域の日々の暮らしの中で起きている課題の解決に向け、取り組むための計画です。これまで、山下地区別計画策定委員会が中心となって話し合いを重ね、平成23年3月に策定しました。

山下地区別計画

1 地域での「つながり」を大切にするまちづくり

【具体的な取組】

- 回覧板はチャイムを押しての手渡し、行事のお知らせはチラシより直接会って伝える、スポーツ行事を通じた交流を広げるなど、あいさつで顔見知りになる機会を増やすこと。
- 「自治会の枠を超えたつながり」をつくるため、民生委員等の各種団体が接着剤の役割(地区情報の共有化)をしていくこと。**自治会と各種団体はオリンピックの五輪の輪!**

2 必要な「情報」が入手しやすいまちづくり

【具体的な取組】

- 緊急時医療情報キット配布等の訪問時には、併せて興味のある情報や他の団体が行う行事等の情報を伝えること。
- 連合自治会が中心となって、自治会や各種団体の活動をつなげる会議を開催し、地区の情報を共有化すること。また、ひとり暮らし高齢者等の情報を基に要援護者マップ等を作成し活用すること。

3 「防犯・防災」で安心・安全なまちづくり

【具体的な取組】

- 老人会の入会勧奨等の訪問時に、防災ささえあいカードに記入してもらう等、情報収集に努めるとともに、自治会や民生委員が中心となり、情報の更新を計画的に行うこと。
- 高齢者だけでなく、障がいのある人や認知症の人、子育て中の人等、支援が必要な人の情報も収集し、安心して住める地域づくりを進めること。

★山下地区での、これまでの取組例…(詳しくは裏面をご覧ください)

- 自治会加入に向けた案内を未加入世帯にポスティング(青砥町)
- 黄色いタオルを玄関や門柱に掲示する、災害時の安否確認訓練を実施(小山町)
- 高齢者が気軽に集い交流できる「友愛サロン」(みどり台)や「ふれあい昼食会」(北八朔上)等を開催

第2回地区別計画推進委員会にて話し合われた内容をご紹介します。

山下地区では、これまで、「つながり」を大切にするまちづくりに取り組んでいます！

1 これまで主に取り組んできたこと

①地域の団体のことを知ってもらう取組

(山下地区 約7,200世帯中 自治会に入っている世帯が約4,600)

- 自治会加入に向けた案内を作成し、未加入世帯にポスティングしている(青砥町)。
- 自治会未加入者に対して、ごみの出し方やルールを守らない場合は罰則があること等を、ちらしのポスティングにより周知したところ、トラブルが収まった(青砥町)。
- 高齢者が気軽に集い交流できる「友愛サロン」(みどり台)や「ふれあい昼食会」(北八朔上)を月1回開催するなどした。

【課題】

- ※自治会や子ども会への加入方法が分からないと聞かれることがあり、PRが未だ不足している。
- また、これからは大学生・職業人等、若い人達の力を活かさないと活動が活発にならない。
- ※閉じこもり高齢者等が、地域の行事に参加してもらうための良い方策が見つからない。

②災害時に備えた安全・安心の取組

- 黄色いタオルを玄関や門柱に掲示する、災害時の安否確認訓練を11月に実施し、班長による状況確認を迅速に行うことができた(小山町)。

2 次年度に取り組みたいこと

①地域活動の基本=自治会への加入促進

- 自治会加入に向けたPRを山下地区の全未加入世帯に実施していきたい。
- 自治会役員の負担軽減を進めるため、サポーターとして若い人達の力を活用したり、役割分担の見直しを行ったりしていきたい。
- 事業を行う際には予算面での制約をなくすため、緑区チャレンジ提案事業等の助成制度を活用したい。

②孤立を防ぐための日ごろの顔つなぎ

- ひとり暮らし高齢者・子育て中の親等、孤立しがちな人に対して、直接に声を掛け、顔つなぎをすることで、地域の団体のことを知ってもらい、各種行事への参加者を増やしていきたい。

山下地区での取組は、2月22日開催の緑区社会福祉大会の会場(緑公会堂)でも、パネルにより展示します。



【山下地区別計画推進委員】(アイウエオ順 敬称略)

浅見 静代	○荒谷 孝道	石井 薫	井上 和子	大槻 孝
小川 絵美	小熊 富美	小澤 秀夫	鈴木 陽子	高橋 弘行
成島 昭吾	兵頭 洵	宮田 文夫	本橋 吾朗	

(○印は委員長)



みんなの力で山下地区をもっともっと
素敵な街にしていきましょう!!

<連絡先>

山下地区別計画推進委員会
事務局 TEL: 930-2282
(緑区 税務課担当課長 藤井)